



## 幼児クラスで大切にしていること



### 環境

#### ・壁新聞

たいよう組のお友だちが写真に合わせて、その時の気持ちを思い出したりお友だちがどういう気持ちだったか考えてコメントを考えて書いてくれています。

子どもたちや保護者の方に見えるよう掲示することで活動の振り返りをしています。

#### ・製作

毎月3学年合同で製作し、飾ることで季節の変化を感じられたり、みんなで作り上げる楽しさを目で感じられるようにしています

#### ・整理整頓

身の回りだけでなくトイレのスリッパを並べたり、みんなで使う環境のことも考えられるよう声掛けするとともに、保育者もお手本となるよう意識しています。最近では、自分で気付いて積極的に整理整頓してくれる姿が見られるので、そういった姿を見逃さず褒めたり感謝を伝えることを大切にしています。

また今年度から、学年によって道具を分けていますがハサミ、のり、クレヨンを自分で管理するようにしています。無くさないよう大切に扱ったり、製作の時以外にもハサミを使えるようにすることで、作りたいという意欲や指先の発達を促しています。



### 自然

#### ・生き物

夏はかぶとむしを育てています。はじめは怖がるお子さまもいましたが、ゼリーをあげたりケースを掃除したりとお世話を通してだんだんと愛着を持ちながら積極的に関わろうとする姿が見られるようになりました。「持ってみたい!」「ゼリー少なくなってるよ!」という声もよく聞こえるようになりました。今は4匹の幼虫の成長を見守っています♪虫は怖いというイメージもあるかと思いますが、成長過程や生体について興味を持てるようになればいいなと思います。今はちょうちょの成長に興味津々です。

#### ・野菜

中庭やベランダで野菜を育てています。自分たちで育てた野菜を味わうことで、季節の野菜について知識を深めたり、苦手な野菜にも挑戦するきっかけになっています。



### 異年齢での関わり

#### ・活動

異年齢での関わりを大切にする中で、戸外活動や室内遊びで集団遊びをする機会を設けています。せかい組さんはルールが難しい時もありますが、年上のお友だちが教えてくれたり回数を重ねるにつれて少しずつ理解しながら楽しめるようになってきました。

また学年での結束を高めたり、発達に合わせた活動が出来るよう分かれて活動する機会も大切にしています。担任同士で話し合い、子どもの様子に合わせてながら日々の活動を決めています。

#### ・異年齢での関わり

おおぞら組、たいよう組は保育者がせかい組のお友だちにしている援助をよく見ていて、自然と手伝おうとしたり、優しく接する姿が見られています。



### 思いやり

・お友だちや相手のことを思いやった声掛けを意識できるよう、どのように伝えたらいいか一緒に考えたり、保育者もお手本となるような言葉選びを意識しています。自分の気持ちを伝えたい!という思いから、言葉が強くなってしまいうこともありますが、相手が言われたらどういう気持ちになるかな?と考える機会を大切に、丁寧に関わるようにしています。年齢によっては自分たちで解決することが難しい時もありますので、保育者が仲立ちし、お互い納得して終わることができるよう話を聞いたり、解決方法を考えています。

・お友だちとの関わりの中で「これ使っていいよ!」「手伝ってあげようか?」と優しく声をかけてくれる姿がたくさん見られるようになりました。子ども同士のやり取りを見逃さないようにし、優しくしてくれた時には褒めるよう心がけています。

